

# 冬の水鳥観察

## 活動のねらい

- 水鳥を観察・記録・スケッチなどを行うことにより、琵琶湖周辺に渡ってくる水鳥に興味関心をもつ。

【時 期】 11月～2月

【場 所】 長浜豊公園太閤井戸付近  
新旭町水鳥観察センター及び周辺浜辺

【時 間】 30分～1時間

【準備物】 ●スコープ ●双眼鏡 ●しおり  
●滋賀の水鳥ハンドブック

## 主な活動の流れ

### 事前学習

- 冬、琵琶湖にやって来る水鳥を調べる。(しおりを参考に)  
【フローティングスクールに水鳥のビデオがあります。】
- 水鳥を観察する時の約束をみんなで考える。  
※児童用プリントに記入欄があります。  
※約束にしたい事柄……●(大声を出したり、近づくなどして)鳥をおどかさないようにする。  
●鳥を見つけたらその場に止まり、周りの人に小さな声で知らせる。
- 双眼鏡の使い方を身につけよう！  
※ストラップは必ず首からかける。(落とさないように)  
※太陽は絶対に見ない。



## 冬の水鳥を観察し、名前を調べよう!何種類ぐらいいるかな?

- ① 形や色、体の沈み具合、頭や尾の向きなど特徴を観察し、しおり等の資料を活用して、名前を調べる。  
【フローティングスクールに提示資料があります。】

	シルエット	えさの取り方	飛び立ち方
淡水(陸)ガモ	 尾が上がっている	 倒立して水草を食べる	 ヘリコプター型 水面をたたかようにしてまっすぐに飛び立つ
海ガモ	 尾が下がっている	 潜水して魚・貝類を食べる	 飛行機型 水面を数歩、助走してから飛び立つ

- ② 水鳥の活動の様子を観察する。
- ③ 何羽ぐらいいるか数える。
- ④ ワークシートにまとめる。

- 観察した水鳥を図鑑などで(渡りの時期・生活の様子などを)調べる。
- 琵琶湖の環境を守る法律(ラムサール条約など)を調べることにより水鳥を取り巻く環境に気づく。

### 事後学習